

いま、あなたに伝えたい。

15歳 少年兵 の記憶

僕は、駆逐艦「雪風」から散っていく命を見た。

[特別企画展]

新宿駅西口徒歩10分・新宿住友ビル33階 | 入館無料

2024.7.17(水)~10.14(月・祝) [前期] 7/17(水)~9/1(日)
[後期] 9/3(火)~10/14(月・祝)

[休館日] 7/22・7/29・8/5・8/19・8/25・8/26・9/2・9/9・9/17・9/24・9/30・10/7

[開館時間] 9時30分~17時30分(入館は17時まで) [会場] 企画展示コーナー



●●●
帰還者
たちの
記憶
ミュージアム

MEMORIAL MUSEUM FOR SOLDIERS, DETAINÉES
IN GERMAN AND JAPANESE REPARATIONS
平和記念展示資料館 [総務省委託]

15歳 少年兵 の記憶

僕は、駆逐艦「雪風」から散っていく命を見た。

[特別企画展]

故・西崎信夫氏は1942(昭和17)年に若干15歳で海軍に志願し、海軍特別年少兵の1期生となりました。海軍特別年少兵とは、14歳以上16歳未満の少年を将来の中堅幹部要員として育成するための制度で、4期18,160名が採用され、2期までの約7,400名の修了者のうち約3,200名が戦死したとされています。その後、西崎氏は稀代の幸運艦として知られる駆逐艦「雪風」に乗艦し、まだ10代後半でありながら数多くの海戦に参加しました。そこで多くの僚艦が沈没し、戦友たちが死傷する有り様を目の当たりにしています。また戦後も雪風に残り、海外からの復員・引揚げ輸送に従事し、そこでも着の身着のままの姿となった人々を目撃しています。鎮魂の想いから2013(平成25)年2月より当資料館語り部となり、自身の戦争体験を積極的に発信し続けましたが、コロナ禍でお話し会自体が中止となる中、2021年11月にお亡くなりになりました。昨年、ご遺族から当資料館へ海兵団時代の日記などの資料をご寄贈いただきました。他にも当資料館作成の記録映像や、ご本人の著書も遺されています。これらを手がかりに、関連する戦跡の写真なども交え、戦中・戦後に1人の少年がたどった軌跡を見つめます。

西崎信夫氏 プロフィール

- 1927.01.02 三重県鷺方村(現・志摩市)生まれ
- 1942.09 海軍特別年少兵の第1期生として、広島県の大竹海兵団に入団
- 1943.08 横須賀の海軍水雷学校普通科に入校し、11月に繰上げ卒業
- 1943.12 駆逐艦「雪風」に乗艦。以後、魚雷発射管の射手や対空機銃要員として主要海戦に参加
- 1945.08 京都府伊根村(現・伊根町)で終戦。最終階級は一等兵曹
以後も雪風に乗務し、甲板長として復員・引揚げ輸送に従事
- 1947.10 復員
- 2013.02 平和祈念展示資料館の語り部としての活動を開始
- 2019.02 西崎信夫著・小川万海子編『「雪風」に乗った少年 -十五歳で出征した「海軍特別年少兵」-』(藤原書店)を発売
- 2021.11.17 逝去。享年94歳



1942年12月頃



2018年8月



大竹海兵団時代の日記



大竹海兵団の修業アルバム



資料提供: 大和ミュージアム 駆逐艦「雪風」



第十七駆逐隊の慰霊碑

※著書や過去の館内の表記は「西崎」ですが、本展では正式表記の「西崎」を使用しております。

関連イベント

担当学芸員によるギャラリートーク

7/21(日)・8/2(金)・8/3(土)・8/4(日)・9/21(土)・10/14(月・祝)
各日とも13:00～(約30分)

映像上映(約120分)

生前の語り部お話し会の記録映像を上映します。詳しい上映の日時はホームページをご覧ください。

トークイベント「元海軍特別年少兵・西崎信夫氏を語る」

8/10(土) 14:00～(60分)

西崎氏の著書の共同執筆・編集者である小川万海子氏ら関係者が、氏の生前の人となりやエピソードを語ります。